

至：釈迦岳

北比良峠

遭難地点

79歳、単独。おかしいと思いながらもどんどん斜面を登っていく。斜面もきつくなり、体力も無くなり、身動きが取れず、救助要請し事なきをえた。

神爾の滝



迷った地点では二つの道にわかれていたように見えた。すぐに出会うだろうと安易に考えて右手へ入った。やがてどうも怪しい。仕方がないので登る。進む方向は西なのにと、わかっているのに障害があり登れない。足場が悪くて、やがて20m登るのに60分かかる。

800mを超えると次第に寒い。4点支持 しっかりとした木の根（見えれば掘りだして掴む）、大きなしっかりとした岩以外は体重はかけられない。一度掴みかけてグラッとしてぞっとした。捕まるものがないザレ場で立ち止まり少し下りまた登る。尾根へ着いて見ると下は絶壁。尾根伝いなど不可能。

さらに登ると斜度が60度。一步一步が死を覚悟、落ちれば300mは落ちるだろう。ヤマレコでは近くを通った形跡がある。でも、79歳の私には絶体絶命。体力を失い寒い、力もなく筋肉がつれる。遭難した。救急要請する決心をする。（HP参照）

地図を見ると沢伝いに登山ルートがあるが、斜面を登っている。先読みをする大切さをいつも思う。斜面は登らないのに、登ってしまう。こんなの登山道ではないと思っても急斜面を登ってしまう。おかしいと思っても進んでしまう。これが、道迷いの心理なのである。地図の先読みをしてほしい。